

## 『レファレンス』第900号刊行にあたって

調査及び立法考査局長

松浦 茂



本誌『レファレンス』は、国政審議に資することを企図し、国政課題にかかわる論点の解説・分析、関連する海外の諸制度の紹介等を掲載しております。1951（昭和26）年の創刊以来、75年を経て、今号で900号を迎えました。創刊時のタイトルは『リファレンス』で、A5判、縦書きでした。現在のようなA4判、横書きで、文字も少し大きくしたのは、603号（2001（平成13）年4月号）からです。

創刊号の記事は、「ケルゼンの国連憲章における集団的安全保障」「琉球・小笠原・千島の日本帰属の経緯」「アメリカ統制機構」「労組・労調法改正問題点」「戦後の日本農業の現態」「講和問題に関する国内雑誌・新聞記事索引」の6点でした。「調査の過程で収集される色々な資料や、文献の解題、その他（中略）国会の参考となる資料を様々に盛りこむ（創刊号「編纂のことば」）」という構想で創刊された全74ページの冊子でした。52号（1955（昭和30）年）を見ると、主要な記事は「憲法「第四章国会」の成立過程」「イギリス議会における両院の権限の差異」等11点、このほか資料紹介、海外彙報、政治日誌等の記事から成るものでした（全140ページ）。初期には、「食糧問題」（1957（昭和32）年）、「憲法上の諸問題」（1959（昭和34）年）等、号を付さない別冊を刊行したこともありました。誌面をリニューアルした603号は、「21世紀を迎えて―回顧と展望―」という特集で、コソヴォ問題などを掲載しています。

創刊以来の記事のタイトルを概観いたしますと、歴史を映していることはもとより、今日にも通底すると感じられるテーマも見受けられます。こうした中長期的テーマを扱い、また海外事情もしばしば扱う本誌が、号を重ねることができたのは、ひとえに、国会議員を始めとする読者の皆様のご支援があつてのことと存じます。

あらためて、感謝申し上げます。

調査の源となる資料や情報にかかわる環境は、本誌創刊時の状況から激変しました。増大した各種情報の中から、確かなものを見極め、的確かつ客観的な調査結果を提供できるよう、今後とも努めてまいります。

本誌のPDF版は、国会向け情報提供サイト「調査の窓」、国立国会図書館ホームページ、国立国会図書館デジタルコレクションで公開しております。デジタルコレクションでは、全文検索もできますので、ご利用いただければ幸いです。

本誌の内容等につきまして、忌憚のないご意見、ご指導をお願い申し上げます。

令和7年12月